

北海道公立学校事務職員協会冬季研修会

令和8年（2026年）1月15日13時20分から、北海道公立学校事務職員協会冬季研修会をオンライン開催しました。

【日程】

	13:20 13:25	14:25 14:40		15:10	15:40
開会式	講話 「ソーシャル インクルージョン ～社会的包摂」 講師 ecoワーク代々木 所属長／ジョブコーチ 鈴木 芳亜 氏	休憩	研究発表 「事務対応事例集 ～困ったこと・ 大変だったこと」 発表者 北海道帯広柏葉高等学校 事務主任 高橋 輝子 北海道帯広盲学校 主任主事 池田 匡芳	研修 「公務災害認定への道！ ～効率よく 進めるために～」 講師 北海道札幌厚別高等学校 事務長 中村 直人	

※130近い接続がありました。研修会に参加していただき、ありがとうございました。

講話 「ソーシャルインクルージョン～社会的包摂」

講師：ecoワーク代々木 所属長／ジョブコーチ 鈴木 芳亜 さん



ソーシャルインクルージョン 社会的包括

ソーシャルインクルージョン、この概念は、年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人が社会の一員として参加し、互いに支え合うことを目指す理念です。

鈴木芳亜さんは、江別市にある障がい者就労支援事業所「ecoワーク代々木」で所属長として勤務されながら、ジョブコーチとしても、実際に職場に出向いて、働いている方の障がい特性を踏まえた専門的な支援を行っています。

講話の主な内容は次のとおりです。

1 ソーシャルインクルージョンの考え方

- ・年齢、性別、国籍、障がいの有無に関わらず、すべての人が社会参加し、支え合う社会を目指す理念。
- ・以前の「ノーマライゼーション」よりも対象が広く、高齢者・外国人・性的マイノリティなど社会的弱者全体を含む。

2 講師自身の経験と支援現場の実態

- ・障がい者の就労支援、定着支援、相談支援など幅広く担当。
- ・事業所には10代～60代まで多様な背景の利用者がいる。
- ・就労移行支援・継続支援（B型）・A型事業所の違いを説明。
- ・定着支援の重要性が高まっており、企業側も支援を求める傾向。

3 障がい特性の理解

◆ 知的障がい

- ・IQによる判定（A1/A2/Bなど）。年齢とともに成長する例もある。
- ・周囲との比較から精神疾患を併発するケースも多い。

◆ 精神障がい

- ・統合失調症、うつ病、双極性障害、適応障害など。
- ・服薬量が状態に大きく影響。病院変更、服薬中断、急な欠勤は悪化のサイン。

◆ 身体障がい

- ・視覚、聴覚、肢体不自由など。
- ・視野が極端に狭い、神経が鈍く骨折に気づかない等、外見から分からないリスクも多い。

◆ 発達障がい

- ・ADHD、ASD、LDなど。
- ・冗談や比喩が理解しづらく、不用意な「親父ギャグ」が悩みの原因になることも。

4 背景にある困難（虐待・依存など）

- ・暴力、性的虐待、自殺未遂、薬物依存、ギャンブル依存など、深刻な背景を持つ利用者も多い。
- ・これらを理解していないと、支援の方向性を誤る可能性がある。

5 合理的配慮と「ちょっとした工夫」

- ・求められているのは「温情に基づく配慮」ではなく、「社会において放置されてきた過ちを正す必要な措置」。
- ・本人の負担を減らし、働きやすい環境を整えること。
- ・月1回の面談は必須。今できていることを評価することが大切。
- ・配慮点は本人から言い出しにくいため、関係性づくりが鍵。

6 障がい者雇用における企業側の視点

- ・法定雇用率を満たさないと「納付金」「行政指導」「企業名公表」などのペナルティ。
- ・実は企業側も大きな恩恵を受けていることを理解すべき。
- ・職員全員が障がい者雇用の意義を共有することが重要。
- ・人間関係の構築には時間がかかる。健常者と障がい者が互いの理解が必要であり、「なぜ手帳を持っているのか」を考えると気持ちの落としどころが見つかる。

7 支援者・企業・本人の三者連携

- ・メンター（担当者）は基本1名に絞る。人事異動の際は必ず後任者へ情報共有を行う。
- ・情報共有が不十分だとトラブルが起きやすい。
- ・仕事量や仕事内容の急な変更は大きなストレスになるため、事前説明と調整が不可欠。

障がいのある方々と日々接している会員の皆さんも多いのではないでしょうか。日々の関わりの中にある小さな気づきを大切に、相手のことを知り、障がいへの理解を少しづつ育んでいくことで、良好な関係の構築につながることを願っています。

鈴木芳亜さん、ありがとうございました！

研究発表 「事務対応事例集～困ったこと・大変だったこと」

北海道帯広柏葉高等学校 事務主任 高橋 輝子 さん

北海道帯広盲学校 主任主事 池田 匡芳 さん

発表に先立ち、十勝支部研究部長の高橋さんから十勝支部研究活動の歴史や目的について紹介がありました。資料はNotebookLMの生成AI機能を使って作成しています。

最初のステップは、とてもシンプルです

事務職員が4人以上いれば、
まずは、研究活動を設定してみてください。

- ・きっと、活気ある楽しい活動になるはずです。
- ・高等学校で「探究活動」を経験した世代が採用され始めており、研究活動への抵抗感は以前より明らかに少なくなっています。



十勝支部研究部は最も意見が出やすいとされる4～6名でグループを作り、4グループ体制で活動しています。十勝は帯広が支部の中心に位置しており集まりやすく、研究活動が活発な地域です。

研究は「課題解決能力の育成」を目的とし、発表そのものよりプロセスを大切にしています。また、「研究議題ノート」や「リーダー用ファイル」を共有し、誰でも研究部長が務められる仕組みを整備しており、研究活動の継続性の確保と保証が図られている感じました。



高橋さんの説明に続いて、池田さんが「事務対応事例集」について発表しました。

今回の池田さんの発表は、昨年度の十勝支部研究部第4グループが研究し、支部研究協議会で発表した内容です。

就学奨励費に関するさまざまな事例の他にも、給与や庶務、工事、財産の事例も紹介しています。実際に困ったことや大変だったこと、判断に迷ったことに対する対応策が示されており、今後の事務処理はもちろんですが、各支部で研究活動をしている方々にとっても活動の参考になったのではないでしょうか。

高橋事務主任さん、池田主任主事さん、ありがとうございました！

研修 「公務災害認定への道！～効率よく進めるために～」

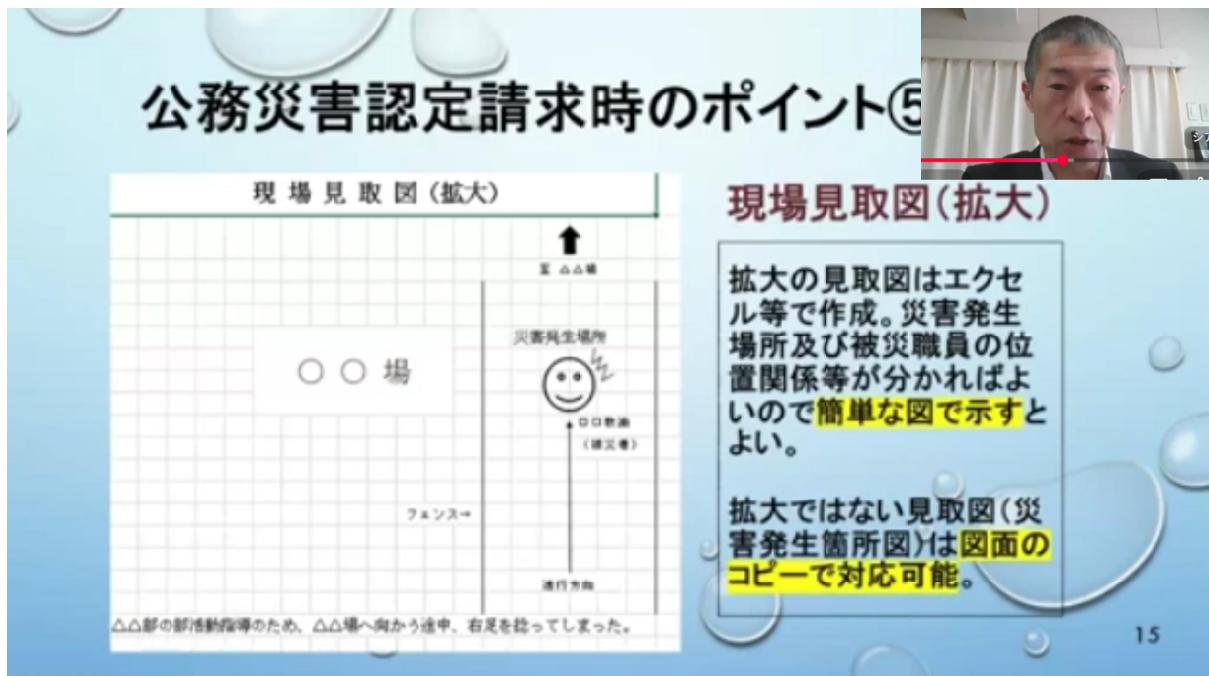
北海道札幌厚別高等学校 事務長 中村 直人 さん

公務災害の事務処理の流れを、実際の事例をもとに説明しました。

事務処理にあたっての主なポイントは次のとおりです。

- ◎連絡を受けたら保険証使用、診断書等の確認
- ◎公務災害、通勤災害などの災害（授業中、学校行事、部活動等）に該当するか確認
- ◎提出書類チェック一覧表により必要書類を確認
- ◎認定請求書の「災害発生の状況」欄は詳細かつ簡潔に

- ◎災害発生状況図は写真でOK
- ◎認定後の手続きは保険証使用の有無により異なる
- ◎「治ゆ」には症状固定も含まれる



提出する書類は提出書類チェック一覧表で確認でき、現場見取図はエクセルで簡潔に作成してもOK、災害状況発生図も写真の貼付でOKなど、「とても面倒」「難しい」「時間がかかる」という負のイメージを少しでも払拭することはできましたか？

中村事務長さん、ありがとうございました！

事務職員協会は令和8年8月に今年度と同様、完全オンラインで研究大会を開催する予定で、講演や講義などを盛り込みたいと計画しているところです。
講義では講師を募集しています。
このテーマなら講義していいよ！という方がおりましたら、ぜひ、事務職員協会本部役員・理事まで、連絡をお待ちしております。
また、各支部の研究活動について報告したい！という支部も大歓迎です。こちらもぜひ事務職員協会本部役員・理事まで連絡願います。